

公益社団法人やどかりの里

2018年 寄付のお願い

「住み慣れた地域で暮らしていきたい」

1970（昭和45）年、やどかりの里は、病気が回復しているにもかかわらず長期入院を余儀なくされている人たちの「地域であたり前に暮らしたい」という願いから活動を開始しました。長い間精神障害者への地域生活支援は福祉と認められませんでした。多くの皆様の支援を得て、必要な活動は自らの手で作って出してきた歴史があります。そして、働く場や暮らしの場を充実させてきました。

現在のやどかりの里は暮らしの場を豊かに、そして安心して地域で暮らしていきたいという願いから、以下のことに重点的に取り組んでおります。

※暮らしのバリエーションを増やすこと

入居者の高齢化や重度化により、やどかりの里がこれまで民間の賃貸物件で運営してきたグループホームの形態では利用が困難になる場合があります。そこで、バリアフリーで手厚い支援態勢を整えたグループホーム建設を目指しています。

土地代は20年間の長期借入金で手当しましたが、2019年4月竣工予定の建物については建築費として約5,500万円を予定しており、自己資金として3,500万円以上が必要です。

※地域メンタルヘルスチームづくり

地域での暮らしを支えるために、訪問支援のチーム（精神保健福祉士・保健師・看護師・管理栄養士・介護福祉士など）の体制をつくります。そして、ベルギーの精神医療改革視察を活かし専門機関との連携、ピアサポーターの活用などネットワークを軸とした地域メンタルヘルスチームづくりに向けた具体的な取り組みにしていきます。

このような新たな活動を立ち上げるには皆様からの寄付が大きな財源となります。寄付につきましては用途を定めることも、やどかりの里の公益事業全般への寄付とすることも可能です。是非ともご協力のほどお願い申し上げます。

またできますれば、1口 **3,000円以上の寄付**をお願いいたします。

2018年6月1日
公益社団法人やどかりの里
代表理事 土橋敏孝